

分野別施策・指標評価表<2-(2)医療提供体制>

番号	D 個別施策					
優先度	個別施策	指標	基準年 (H29)	直近	結果	目標
1	拠点病院等は情報を集約し患者等に周知する	活動状況を示す指標を採取				
追加欄						

優先度	個別施策	指標	基準年 (H29)	直近	結果	目標
2	医療機関に関する情報を医療機関の間で共有する	活動状況を示す指標を採取				
3	機能に応じた紹介を行う体制を整備する	活動状況を示す指標を採取				
4	地域連携クリティカルパスを推進する	活動状況を示す指標を採取				
追加欄						

番号	C 初期アウトカム							
1	患者が適切な医療機関で受診できるよう、医療機関情報を周知する		基準年 (H29)	直近	結果	目標	SPO	妥当性 信頼性
1	拠点病院等は情報を集約し患者等に周知できている	①おきなわがんサポートハンドブックの配布数 ②地域の療養情報の配布数 ③沖縄県在宅緩和ケアマップの更新回数	①NA ②NA ③1回	①20,549 (R2) ②19,687 (R2) ③17回 (R2)	↗		P	C B
追加欄								

2	医療機関の間の情報共有を図り、その情報に基づいた医療機関相互の紹介を行う体制ができている		基準年 (H29)	直近	結果	目標	SPO	妥当性 信頼性
2	医療機関に関する情報を医療機関の間で共有できている	①院内がん登録報告書の県内医療機関への配布数	①256	①248	↘		P	C B
3	機能に応じた紹介を行う体制ができている	①沖縄県在宅緩和ケアマップの更新回数 ②医療部会と離島・へき地部会で検討した回数 ③緩和ケア・在宅医療部会で検討した回数	①1回 ②0 (H30) ③0 (H29)	①17回 (R2) ②7 (R2) ③0 (R2)	↗ ↗ →		P	C B
4	地域連携クリティカルパスが推進できている	①がん治療連携計画策定料1 ②がん治療連携指導料 ③がん治療連携管理料 1拠点病院 2診療病院	①44 ②1,721 (H28) ③-1 140 (H27) ③-2 —	①10 ②1,851 (R2) ③-1 26 ③-2 26	↘ ↗ ↘		S P	B B
追加欄								

番号	B 中間アウトカム							
1	正しい情報と医療連携のもと、患者が適切な医療機関を受診できている		基準年 (H29)	直近	結果	目標	SP O	妥当性 信頼性
1	指標	病院の診療方針が診療所・訪問看護ステーションへ円滑に引き継がれた(H26体験調査問14)	沖縄69.3 栃木81.2 全国72.7 (H26)	質問項目なし (H30)		増加	O	A B
2	指標	成人間20-12紹介先の医療機関を支援なく受診できたと思う人	質問項目なし (H26)	沖縄80.9 長野100 全国82.5 (H30)			O	A B
3	指標	成人間20-13希望通りの医療機関に転院することができた人	質問項目なし (H26)	沖縄85.7 兵庫97.5 全国79.2 (H30)			O	A B
4	指標	NDB-SCR ①がん治療連携計画策定料1 ②がん治療連携指導料 ③がん治療連携管理料 1拠点病院 2診療病院	①49.8 17.5 35.1 ②151.7 ③-1 NA ③-2 NA	①NA ②114.6 ③-1 NA ③-2 NA (H31)			P	B A
追加欄								

番号	A 分野アウトカム							
1	適切な医療連携に基づく医療を受けられている		基準年 (H29)	直近	結果	目標	SP O	妥当性 信頼性
1	指標	5年相対生存率全がん(男)	沖縄52.9 秋田75.5 全国59.1 (H18-20診断症例)	沖縄57.5 秋田67.7 全国62.0 (H21-23診断症例)	↗	増加	O	A B
2	指標	5年相対生存率肺(男)	沖縄24.8 秋田49.9 全国27.0 (H18-20)	沖縄21.4 三重41.7 全国29.5 (H21-23)	↘	増加	O	A B
3	指標	5年相対生存率肝および肝内胆管(男)	沖縄25.4 秋田58.3 全国33.5 (H18-20)	沖縄28.7 鹿児島50.0 全国36.2 (H21-23)	↗	増加	O	A B
4	指標	5年相対生存率全がん(女)	沖縄67.9 秋田75.4 全国66.0 (H18-20)	沖縄69.6 三重72.7 全国66.9 (H21-23)	↗	増加	O	A B
5	指標	5年相対生存率肺(女)	沖縄42.6 秋田59.4 全国43.2 (H18-20)	沖縄41.5 島根59.0 全国46.8 (H21-23)	↘	増加	O	A B
6	指標	5年相対生存率肝および肝内胆管(女)	沖縄27.7 秋田47.0 全国30.5 (H18-20)	沖縄17.2 徳島47.6 全国35.1 (H21-23)	↘	増加	O	A B
7	指標	5年相対生存率全がん(男女計)	沖縄60.1 最良県-- 全国62.1 (H18-20)	沖縄63.2 三重68.8 全国64.1 (H21-23)	↗	増加	O	A B
8	指標	5年相対生存率肺(男女計)	沖縄30.1 秋田52.8 全国31.9 (H18-20)	沖縄27.5 長野44.9 全国34.9 (H21-23)	↘	増加	O	A B

番号	D 個別施策
----	--------

優先度		個別施策	指標	基準年 (H29)	直近	結果	目標
	5	身近な医療機関で経過観察できる体制を整備する	活動状況を示す指標を採取				
	6	(再掲)地域連携クリティカルパスを推進する	活動状況を示す指標を採取				
	追加欄						

番号	C 初期アウトカム
----	-----------

3	身近な医療機関で経過観察が行える体制ができています		基準年 (H29)	直近	結果	目標	SPO	妥当性	信頼性
5	身近な医療機関で経過観察できる体制ができています	指標 拠点病院等から、地域の医療機関へ患者を紹介した件数	調査中	調査中			P	C	B
6	(再掲)地域連携クリティカルパスが推進できている	指標 地域連携クリティカルパスに基づく ①診療計画策定等実施件数(レセプト件数) ②診療提供等実施件数(レセプト件数)	①57 ②1852	①29 (H30) ②1864 (H30) (??年に廃止?)	↘ ↗ 増加		S	B	B
追加欄		指標							

番号	B 中間アウトカム
----	-----------

番号	A 分野アウトカム
----	-----------

9	指標 5年相対生存率 肝および肝内胆管(男女計)	沖縄26.1 秋田54.6 全国32.6 (H18-20)	沖縄25.1 徳島46.7 全国35.8 (H21-23)	↘ 増加		O	A	B
10	指標 拠点病院で治療を受けたがん患者の5年生存率 全がん(男女計)	沖縄57.9 (2拠点) 東京72.5 全国65.8 (H20-21)	沖縄63.7 (3拠点) 最良県 全国 (H21-23)	↗ 増加		O	A	B
11	指標 治療に納得している(問20-10)	沖縄80.2 福島93.8 全国88.1 (H26)	沖縄85.4 愛媛89.5 全国77.3 (H30)	↗		O	A	B
12	指標 評価が高い割合(8～10点の人)(問23)	質問項目なし (H26)	沖縄70.5 愛媛75.3 全国70.5 (H30)			O	A	B
13	指標 総合的な評価の平均点(0～10点)(問23)	質問項目なし (H26)	沖縄8.4 愛媛8.5 全国8.0 (H30)			O	A	B
追加欄	指標							

番号	D 個別施策
----	--------

番号	C 初期アウトカム
----	-----------

番号	B 中間アウトカム
----	-----------

番号	A 分野アウトカム
----	-----------

優先度		個別施策	指標	基準年 (H29)	直近	結果	目標
	7	県は拠点病院の機能強化を図るため必要な支援を行う	活動状況を示す指標を採取				
	追加欄						

5	県は拠点病院の機能強化を図るための必要な支援ができています		基準年 (H29)	直近	結果	目標	SPO	妥当性	信頼性
7	県は拠点病院の機能強化を図るため必要な支援ができています	沖縄県が、拠点病院等の整備のために拠出した予算の総額	43,749千円	41,310千円(R2)	↘		P	B	B
追加欄		指標							

優先度		個別施策	指標	基準年 (H29)	直近	結果	目標
	8	がん診療連携協議会の活用を図り、診療連携体制の充実・強化を行う	活動状況を示す指標を採取				
	9	拠点病院等の適正な整備を図る	活動状況を示す指標を採取				
	追加欄						

6	がん診療提供体制の充実・強化ができています		基準年 (H29)	直近	結果	目標	SPO	妥当性	信頼性
8	がん診療連携協議会の活用ができて、診療連携体制の充実・強化ができています	拠点病院等の現況調査で、満たせなかったA項目の数	6	0(R2)	↘		S	B	B
9	拠点病院等の適正な整備ができています	①拠点病院数 ②診療病院数	①3 ②3	①3 ②3(R3)	→ →	維持	S	C	B
追加欄		指標							

優先度		個別施策	指標	基準年 (H29)	直近	結果	目標
-----	--	------	----	--------------	----	----	----

7	拠点病院等は指定要件の充足ができています		基準年 (H29)	直近	結果	目標	SPO	妥当性	信頼性
---	----------------------	--	--------------	----	----	----	-----	-----	-----

2	拠点病院の機能が充実しています		基準年 (H29)	直近	結果	目標	SPO	妥当性	信頼性
1	指標	成人間34 ゲノム医療を知っている患者の割合	質問項目なし(H26)	沖縄12.5 千葉25.0 全国17.0(H30)			O	A	B
2	指標	成人間33 臨床試験とは何かを知っている人	沖縄NA 最良NA 全国44.2(H26)	沖縄48.7 京都50.9 全国39.7(H30)			O	A	B
3	指標	パネル検査の結果、新たな治療が見つかった患者の数	0人(R1)	5人(R2)			O	B	B
4	指標	琉球大学病院で発表された英語の論文数	NA	115(R2)			P	B	B
5	指標	免疫チェックポイント阻害薬(NDB-SCR)①キイトルーダ(2017-18年)②テセントリク(2018-19年)③イミフィンジ(2018-19年)④パベンチオ(2017-18年)	①55.0 50.9 52.0(2017)	①110.0 53.5 64.7(2018) ②— ③— ④—			P	C	B
6	指標	琉球大学病院で臨床試験等に参加した患者数	調査中(H29)	調査中(R2)			O	B	B
追加欄	指標								

番号	D 個別施策					
10	拠点病院等は指定要件の充足を行う	活動状況を示す指標を採取				
追加欄						

番号	C 初期アウトカム									
10	拠点病院等は指定要件の充足ができてい	指標	配置されている拠点病院等の数	②2	→	6	S	C	B	
			②3	②3	→	3				
			②2	②2	→	6				
			②4	②5	↗	6				
			②2	②3	↗	3				
			②1	②1	→	6				
			③がん治療認定医(放射線科)							
			③がん専門薬剤師							
			④がん化学療法看護認定看護師							
			⑤がん放射線療法看護認定看護師							
			⑥がん性疼痛看護認定看護師							
追加欄		指標								

番号	B 中間アウトカム
----	-----------

番号	A 分野アウトカム
----	-----------

優先度	個別施策	指標	基準年(H29)	直近	結果	目標
11	がんゲノム医療を進める	活動状況を示す指標を採取				
12	県は研究を推進、協力及び支援する	活動状況を示す指標				
13	国内で承認された薬剤や医療機器がすみやかに使用できるようにする	活動状況を示す指標を採取				
14	臨床試験に参加する	活動状況を示す指標を採取				
追加欄						

8	がんゲノム医療・がん研究等ができて ている		基準年 (H29)	直近	結果	目標	SPO	妥当性	信頼性	
11	がんゲノム医療が できている	指標	がんゲノムプロ ファイリング検 査(結果説明 時)(レセプト件 数)	1件 (R2)	25件 (R3.4～9)	↗		P	B	B
12	県は研究を推 進、協力及び 支援ができて	指標	沖縄県が、研究 のために提出し た予算の総額	0件 (H29)	1件 500万円 (R2)	↗		P	C	B
13	国内で承認さ れた薬剤や医 療機器がすみ やかに使用が できている	指標	承認月と琉球大 学病院の利用可 能日との差 ①キイトルーダ 100mg ②テセントリク 1200mg 840mg ③イミフィンジ 500mg 120mg ④パベンチオ 200mg		①8ヶ月 ②5ヶ月 5ヶ月 ③2ヶ月 2ヶ月 ④8ヶ月		S	C	C	
14	臨床試験に参 加できている	指標	琉球大学病院で 承認された試験 数	調査中	調査中			S	C	B
追加欄		指標								